



大豆の磨り潰し作業

(3)味噌桶に入れる。



空気を入れられないため桶に投げつける

**ポイント**

- a 桶に入れる際味噌から空気を抜くために味噌をボール球にして強く投げつけ空気の入る隙間を作らない。
- b. 桶の味噌に雑菌の混入やカビの発生を防止するため味噌の表面をビニールで覆い空気に触れないようにする。尚、そのビニールの上に約 10kg の塩を載せ重しと空気を遮断する。
- (3) 参加者 13 名
- 土用過ぎると塩が馴染み・醗酵・成熟し味噌が出来上がります。
- 10 月以降、味噌の出来上がり具合を見て、1Kg のビニール袋に詰めて会員へ販売予定。

**お知らせ****第九回通常総会の案内****一・開催日時**平成二五年六月九日(日)  
午後一時～**二・会場**

湯ノ岳山荘 研修室

右記の通り総会が開催されますので多くの方々のご出席をお待ちしております

**編集後記**

先日気になる情報がありました。重症熱性血小板減少症候群と言う病気を新聞で見ました。マダニを介してウイルスに感染すると見られています。症状は 38 度以上の発熱や下痢、腹痛などの症状が現れ、血小板や白血球が減少、多臓器不全で西日本で数人の死者が確認されています。

マダニは屋外のどこにでも生息しているそうです。特に湿った土や草の上などに多く、屋内の乾燥した環境では生きられないそうです。また、飛び跳ねることはなく、ゆっくり移動して動物に乗り移れる機会を待っているそうです。

これまでの例では、畑や庭木の手入れ作業中や散歩中、竹やぶの中にいるとき、登山中などに噛まれた例が多いとのこと。

私達は、自然観察会や森林整備で野原や森林等のマダニの生息区域に入りますので気をつける必要があります。

対策は、素肌の露出を避け、藪に近づかない事ですが、観察会等では肌を出さない服装が最善の対策です。もし噛まれたら自分で処理せず皮膚科にお願いすることです。(伊藤)

(発行) NPO 法人いわきの森に親しむ会  
(発行責任者) 松崎和敬 (編集担当者) 伊藤貞夫  
(事務局) 〒972-8326 いわき市常磐藤原町湯ノ岳 2  
湯ノ岳山荘内  
TEL/FAX 0246-44-3273  
E-mail: yunodake@gray.plala.or.jp  
HP: http://www16.plala.or.jp/goan/

**ヤマザクラ**

2013 年 (平成 25 年) 4 月 20 日 (土) 発行

**プロ野球の森の整備について**

理事長 松崎和敬

プロ野球の森の趣旨およびプロ野球の森の協定については、会報ヤマザクラ 2 号でお知らせしましたが、今後の取進め方についてまとめましたので都合のつく範囲でご協力いただきたいと思います。

**1. 事業計画 (平成 24 年度～26 年度)**

年度	事業内容
平成 24 年度	<b>市民参加の森づくりのために必要な環境整備</b> (放射線量 1 ミリシーベルト/年とすることが主なネライ) (1) 遊歩道整備に支障となる杉、雑木等の間伐作業 (2) モウソウ竹の除去作業 (3) 落葉の除去作業
平成 25 年度	<b>市民参加による森づくり活動の展開</b> (1) 遊歩道の簡易な整備 (2) モウソウ竹の除去作業 (3) 市民が森に親しみ、利用し、交流することができる機能の整備についての検討作業
平成 26 年度	<b>市民が森に親しみ、利用し、交流することができる機能の整備</b> (1) 遊歩道の簡易な整備 (2) モウソウ竹の除去作業 (3) 多くの市民に利用してもらえるような仕掛け作り

**2. 現時点の進捗状況**

事業計画では平成 24 年 4 月より着手する予定でしたが、諸般の事情から平成 24 年 10 月着手と 6 ヶ月ズレ込んだことにより杉等の間伐作業はなんとか 4 月末には完了する見込みとなりましたが、落葉の除去作業は着手できませんでした。モウソウ竹の除去作業はいわき竹プロジェクトメンバーが担当し実施していますが、想定以上に大変で大巾に遅れております。

**3. 今後の取組み**

- (1) 落葉の除去作業。
- (2) 落枝・落葉のチップ処理と処分。
- (3) モウソウ竹除去作業の加速化。
- (4) プロ野球の森についての PR 活動とプロ野球の森友の会 (仮称) の結成。
- (5) プロ野球の森の機能の整備についての検討作業。
- (6) イベントへの参加。
  - ① 6 月 15 日 (土) プロ野球イースタン戦の際に行われるイベントに参加する。  
内容は昨年 5 月 27 日のプロ野球の森設定記念イベントに実施したものに準じて行います。
  - ② 7 月 22 日 (月) プロ野球オールスター戦の際にも何らかの対応を考えていきたい



## 整備班の活動

桑原敏和

過去3ヶ月（平成24年1月21日～4月20日）の主な活動は下記の通りです。

- ① 1月は、観察コースの安全対策を主に活動、内容は落下危険枯枝、枯木の切断を実施。
- ② 湯の岳杉林の除染試験準備作業。
- ③ 山整備事業（樹木の間伐等）に協力。
- ④ トチギ環境未来基地が新舞子防潮林にクロ松植樹（苗木 for いわき）支援を主に実施しました。

### 森林整備班活動一覧表（H25.1.23～H25.4.117）

No	月/日	曜	実施事項	名
1	01/23	水	観察コース安全対策・枯木伐倒	6
2	01/30	水	猪被害補修・炭窯周辺山荘周辺側溝	4
3	02/02	土	池北斜面・林床整備	3
4	02/13	水	大径木伐倒（クヌギ）玉切整理	4
5	02/16	土	里山再生整備啓発事業・指導員他	12
6	02/20	水	杉林除染試験準備・伐倒材整理	6
7	02/22	金	杉林除染試験準備・伐倒材整理	6
8	02/27	水	杉林除染試験準備・落下枯れ枝整理	6
9	03/06	水	杉林除染試験準備・落下枯れ枝整理	3
10	03/13	水	杉林除染試験準備・落下枯れ枝整理	4
11	03/14	木	「苗木 for いわき」支援・チップper他	6
12	03/15	金	「苗木 for いわき」支援・チップper他	6
13	03/23	土	福島県新舞子海岸植樹祭参加	24
14	03/27	水	ロープで滑車運搬試験	3
15	03/30	土	「苗木 for いわき」第1回植樹指導他	7
16	04/06	土	杉落下枯れ枝・チップper作業	5
17	04/10	水	杉落下枯れ枝・チップper作業	6
18	04/17	水	プロ野球の森・杉枝等チップper処理	10
19	04/20	土	プロ野球の森・杉枝等チップper処理	6



プロ野球の森整備、杉枝等のチップper作業

定例整備は水曜日と第1.3土曜日。湯ノ岳山荘集合が基本となります作業時間は9:00～12:00です。森林整備に興味のある方はお待ちしております

## 放置栗園跡地の整備

佐藤行年

20年以上も放置された栗園跡地1haを昨年未まで0.47haを実施しました。

平成25年1月17日から残り0.53haを毎週木・金曜日に実施し4月19日にほぼ完了することが出来ました。



作業開始前のミーティング

整備地は藤蔓と想像以上藪化した地で、森林整備作業技術であるチェーンソーや刈払機の取扱いの技術を高め安全作業のレベルアップが出来たと思っております。



つる・ノバラと大格闘



広々と見通しの良くなった整備地

## 湯ノ岳山荘の運営について

池野上

山荘の運営内容を簡単にご報告します。

24年度の山荘利用者数は2,597名でした。（山荘宿泊者等：995名、・広場利用者：724名、研修室利用者：878）前年比約12%減です。

23年度の山荘利用者数は2,949名でした。（山荘宿泊者等：1,315名、・広場利用者：284名、研修室利用者：1,350）

宿泊者数等が25%減です。災害ボランティアの方々の利用減が主な原因です。

広場利用者が154%増です。放射線量の減少に伴い子供達の利用が増えました。

研修室利用者は35%減です。講習会等の利用減です。

平成25年になり2月、3月は水不足が発生しました。当施設の水は、水道水を使用していません。湯ノ岳に降る雨を浄化装置で濾過して使用しています。この濾過した水は勿論保健所の検査に合格しています。毎月業者が定期的にメンテナンスを行っています。

この水は湯ノ岳山荘と丸山公園で共同して使用していますが、当館では独自に雨水を蓄えてトイレの一部及び道具類の清掃用としています。

降雨が少ないと、宿泊者の風呂等が使用できない状態となり、また、濾過した水を使用しているトイレは使用制限となります

大勢の方が広場を利用する広場のトイレは濾過した水を使用する方式なので、水不足の時にはトイレ使用不可を説明して広場利用をお断りしています。

山荘の和室、台所、研修室を利用する方には節水をお願いしていますが、濾過した水が足りない場合は500リットルの給水タンクで水道水を運び補充しています。1日に5回運んだ日もありました。山荘では節水をお願いいたします。



山荘の給水車・500ℓタンクを積載運搬した

## 手作りおいしい味噌作り体験教室

- I. 実施 平成25年2月1日（金）～2日（土）
- II. 講師 菅野貞夫・喜久枝夫妻。
- III. 原材料 大豆；栃木県産大豆（33kg）、米麴：会津産（21.6kg）、食塩：徳島県（16kg）
- IV. 参加者 延21名

### 1. 平成25年2月1日（金）

- (1) 準備作業
  - a. 大豆を洗い各鍋に分散一晩水に浸す
  - b. 大豆を煮るガスコンロの準備
  - c. 味噌桶の設置（倉庫に設置する）、

- (2) 参加者 8名

### 2. 平成25年2月2日（土）

- (1) 大豆を煮る 点火7:40、5個の鍋のガスコンロに点火（大豆は4～5倍位に膨らんでいる）

### ポイント

- a. 丁寧にアク取りし大豆が焦げ付かせないこと。（差し水を用意しておくこと）
- b. 大豆を指で潰して崩れるぐらいの柔らかくなるまで煮る
- c. 煮ること4時間～4時間半（鍋の大小で変わる）



大鍋で大豆を煮る

- (2) 大豆を磨り潰す（12:30～14:00）
  - ・磨り潰し機械で大豆をペースト状にする。
  - ・ペースト状の豆と麴と塩を大きな器の中で掻き混ぜる。



## 平成 24 年度

### 林業研究グループ等活動発表会

1.日時 2013年(平成25年)2月5日(火)  
10:10~12:10

2.会場 福島県林業研究センター

いわき農林事務所管内で本会が代表して、松崎理事長より震災後(2011.11~2012.12.31)の活動状況と2013年の取組みについて発表されました

#### 発表要旨

震災後ガソリン不足が主な原因となり活動を休止した。

自然観察会や野外活動参加者は大幅に減少した。また、環境教育の学習支援活動は、予算の減少、放射能問題から大幅に減少した。

震災ボランティア活動については、県外から湯ノ岳山荘に宿泊された方々に対し後方支援活動を積極的に展開した。

震災に伴う会員の活動減少については、その余力をスタッフのスキルアップに振り向けた。

森づくり活動は、県外ボランティア支援、いわき市に設定された、プロ野球の森事業支援等で前年比13%増となった。

震災後の活動の中で感じたことは、「動物の一種である人間として生きる力」の必要性を痛感し、自然体験活動の必要性と重要性を改めて認識させられた。

今後の取組みについては、自然体験活動については、今まで以上に充実した内容で取組み、放射能問題への対応は、専門家の指導の下に柔軟に取り組む。

ボランティア活動の中で、森づくりに関係するものについては、本会の従来の活動の中に取り組み充実化していく。



発表する松崎理事長

## 記念講演

「森林における放射能の影響」について、独立法人放射線医学総合研究所 吉田 聡 氏の講演がありました。

講演内容は

- ・放射能の基礎
- ・福島第一原発事故の影響
  - ・環境汚染の状況
  - ・放射性セシウムの動き
  - ・林産物と放射性セシウム
- ・森林施業と被ばく



放射線医学研究所 吉田 聡 氏

本会よりの受講者

松崎、佐藤(行)、津崎、佐々木、伊藤。

## 機械植付見学

- 1.見学日 平成25年3月5日(火)~6日(水)
- 2.場 所 湯ノ岳栗園跡整備地(放置栗園跡地の整備の目的の一つでありました)

### 3.植付見学

森林総合研究所・(株)森藤機械製作所・(株)モリトウによる苗木の機械植付を見学した。



植付デモ

○開発第2号機とのこと、多くの改良点がありそうだが、林業作業の省力化のため植付機械の完成を期待したい。

## 平成 24 年度

### 里山再生整備啓発事業

主催：いわき市生活環境部環境企画課

\*本会が受託団体として実施します。

目的は、放置され荒廃している里山の再生整備を通じ、参加者の環境保全に係る意識醸成を促すとともに、次世代の環境保全活動の担い手育成を目的として、平成24年度里山再生啓発事業を開催するものです。

#### 第5回 広葉樹の抜き切ともやかき

(1) 日 時 平成25年2月16日(土)  
9:00~12:00

(2) 場 所 いわき金成公園 岩出の郷  
(3) 参加者 40名  
(4) 整備目的

20数年前に皆伐され、その後放置されていた雑木林を整備することによりカタクリ等の山野草が発生しやすい環境を作ること。

(5) 作業内容

- ①混み過ぎている雑木を間引くための抜き切り作業。
- ②切株から生えてきた枝を間引く「もやかき」作業。



里山整備開始前について説明を受ける



里山整備作業

### 第6回 杉林に侵入したモウソウ竹の除去作業と全体のまとめ

(1) 日 時 平成25年3月16日(土)  
9:00~12:00

(2) 場 所 湯ノ岳山荘近くの杉林

(3) 参加者 22名

(4) 整備目的

杉林内のモウソウ竹の伐採と伐採後処理作業。

(5) 全体のまとめ

湯ノ岳山荘内の石窯で焼いたサツマイモ、ニンジン、タマネギ、ピザで昼食を済ました後、全6回の作業のまとめを行いました。

① 里山整備にあたってはどんな里山を目指すのか、景観としての里山、生物多様性保護の場としての里山、リクリエーション・教育の場としての里山、薪炭林等の整備目的をはっきりさせることが必要です。

② 次に手入れ後数年間は下草の発生が盛んになるので、整備後の維持管理の手間を考慮した取組みが必要になります。

③ 整備した里山林には、四季折々ふれ合うことが望まれます。



杉林に侵入したモウソウ竹の伐採作業



まとめ前の石窯料理の昼食



## 木工クラフト班活動について

桑原敏和

月の第1、第3火曜日の午前中に実施しています。主な作成品は杉材使用のファイルスタンド、コシアブラ材使用のトレイ、縦材を使用してスノコ形状に加工した花瓶台等です。

4月にはプランターに挑戦し花（野菜）を楽しみたいと思っています。



花を思いプランター作り

### ○木工クラフト活動一覧表

No	月/日	曜	実施事項	名
1	01/22	火	ファイルスタンド・第1回	7(3)
2	02/05	火	ファイルスタンド・第2回	6(3)
3	02/19	火	トレイ(コシアブラ材)・1回目	10(3)
4	03/05	火	〃 2回目・木製名札作成	10(3)
5	03/19	火	〃 3回目	10(3)
6	04/09	火	鍋敷(スノコ形)・1回目	10(3)
7	04/16	火	プランター	10(3)

01/22より電動工具(糸鋸機械)使用を取り入れた。

花瓶台の作成



\* 定例木工クラフトは第1・第4火曜日を定例日としております、クラフトに興味のある方は山荘にお出で下さい。

## 水難の相

池野上幸弘

4月6日夕方から7日朝にかけて爆弾低気圧の通過により大雨が降りました。

いわき市内の各所で被害がでましたが、湯ノ岳山荘でも浸水被害が発生しました。

大雨のため、裏山から大量の雨水が山荘裏側に流れ込み、排水溝で処理しきれなく溢れ出した水が建物の基礎部分の空気取り入れ口から床下に流れ込み、流れ込んだ量が大量の為床下から流れ出しきれず一部がロビーと台所の床上に溢れ出しました。

また、床下に流れ込まなかった水の一部は新館と旧館を結ぶ渡り廊下を浸水して流れていきました。

ロビーは絨毯が一面に敷いてありますが、この絨毯が全面水浸しとなりました。

台所の床はコンクリートの上にビニールタイルが貼ってありますが、台所中部分に約1cmほどの水溜りが1.5㎡位できました。

当日は10人の宿泊者がいましたが、幸いにも人的被害はありませんでした。

宿泊者は全員山岳関係の方方で、このような状態でもクレームも言わずに足をぬらしながら台所を使用し、びしょびしょの絨毯の上を水をはじきながら歩いて9時頃までにチェックアウトしました。

絨毯を水浸しのままほっておくとカビが発生する恐れがあり、なるべく早く水を拭き取らなければならないので、会員の方、主に農業班の方に事情説明し支援要請をしました。

当日は日曜日で時期的に町内会会合等の予定が入っている人もいましたが10名の方が9時過ぎまでに急ぎ駆けつけてくれました。

台所はタオル、雑巾を使用して水の拭き取り作業を行ない、絨毯も同様な作業で歩いても絨毯から水音が聞こえなくなり、更に上を歩いても水がしみ出ない程度迄行き11時過ぎに終わりました。

現在はロビー、台所の換気を良くして自然乾燥待ちです。

P-5へ

## ろうきん森の学校(2月~3月)

若森秀

樹

### 1.平成25年2月17日(日)

(1) 実施内容

- ① 自然観察会 ②きのこと植菌体験、  
③ 里山整備体験 ④野外料理体験

(2) 参加者 30名

(今回は、ろうきん連合会から8名が参加)し、シイタケの植菌と杉林の竹の除伐を体験しました。

(3) 実施結果

- ① 然観察会：冬の里山・早春のきざしを感じようをテーマに、観察樹木番号札のチェックを兼ねて、観察コース(2)を廻りました。  
② シイタケの植菌(ろうきん連合会8名)キノコ班の指導で、ほだ木の穴開けからシイタケの種駒(木片)の打ち込み・仮伏せを体験した。ほだ木には植菌者氏名を記載し後の楽しみとした。(管理はキノコ班が行います)

(注) 今回のほだ木は岩手県産を使用した)



植菌作業(シイタケの種駒の打ち込み)

③ 里山整備体験

杉林に放置されたモウソウ竹が侵入その竹を、ノコギリによる手作業で伐倒から枝打ち・玉切・整理まで行い汗を流した。



竹を倒し枝を払い玉切して整理します。

④ 野外料理体験・ソバ打ちを実施、昼に食す。香味共高得点でした。・石窯料理として、さつまいも・タマネギ、人参を焼いた。思ったよ

### 2.平成25年3月17日(日)

(1) 実施内容

- ①自然観察会 ②里山整備体験  
③野外料理体験

(2) 参加者 19名

(3) 実施結果

・自然観察会：「春になったナー」をテーマに、(3)コースで観察会を実施した。ニホンアカガエルのおたまじゃくしや春の草花・昆虫を発見、大きな春を感じた観察会でした。



ニホンアカガエルのおたまじゃくしを観察

・里山整備：杉林に侵入したモウソウ竹の除伐を実施した。伐倒・枝払い・玉切・整理までおこなった。竹の侵入を防止するには今年の筍の撤去がポイントとなるとおぼいます。



除伐した竹を整理する

・野外料理体験：キノコご飯、キノコ汁、山菜天ぷら、男性は「おやき」に挑戦。



男の料理：屋外での「おやき」・焼きシイタケ料理?



## 自然観察班設立

自然観察班は、一般参加者を対象とした自然観察会等の各種イベント実施を目的に結成され、平成 25 年 2 月 22 日の役員会で自然観察班が承認されました。代表は、佐藤幸二さんが務めます。

開催は、四季毎に 4~6 回/年とする。

第 1 回の開催は 4 月 14 日（日）に湯ノ岳山荘周辺の観察会を計画しました。

自然観察班では、多くの方に参加して自然を万喫してほしいので、3 月 27 日（水）PR のため各新聞社を佐藤幸二、桑原敏和、古川真智子さんの 3 名で訪問してまいりました。いわき民報にはその案内が掲載されました。

### 第 1 回 春の自然観察会

(1) 日 時 平成 25 年 4 月 14 日（日）天候：晴  
9：00~12：00。

(2) 場 所 湯ノ岳山荘周辺と丸山公園。

(3) 参加者 13 名、

(4) 実施内容

参加者を 3 ヶ班に編成。リーダー、サブリーダーの 2 名体制で観察会を実施しました。

(5) 実施内容

春の新芽や草花そして生き物を探しながら湯ノ岳山荘観察コースと丸山公園内を散策しました。

(6) 実施結果

a. 観察会に自分で申込み参加した方々で、観察会態度は真剣で、自然を見る目が積極的でした。

b. 次回は家族で参加したいと言われるお方がおられ、春の自然の楽しさを強く感じたと思われます。

c. ゲームを楽しみ野立の紅茶は、大変印象に残ったらしいです。

d. 一般参加者募集した観察会でしたので、特に安全に観察会を終えた事で安心しました。

e. 何より天候にも恵まれたことが最高でした。



春のみ見られる新芽をルーペで観察

## 福島県もりの案内人の会いわき支部活動

支部長 佐々木志津夫

「NPO 法人 いわきの森に親しむ会」には 30 名の福島県もりの案内人認定者が在籍しております。認定者は自然観察会等積極的に活動しております。今回、会報「ヤマザクラ」で支部活動の一部を紹介させていただきます。

### 「福島県もりの案内人の会いわき支部」の研修

支部では、東日本大震災以降活動を中止しておりました。今回の活動は、震災後最初に計画した観察会です。

### 秋の観察会記録について

1. 実施日：平成 24 年(2012) 11 月 18 日(日)

8：10~16：00 天候 晴 6℃

2. 地域名：北茨城市関本町小川地区

(2003 年 9 月、鈴木昌友茨城大教授主宰で訪れた小川ブナ林と近傍の和尚山を歩く)

3. 参加者：大内政義、草野秀雄、佐藤行年、古川真智子、深瀬元靖、佐々木

4. 道程とタイム

おふくろの宿(集合)8:10---和尚山登山---定波林道---沢→林道→尾根→林道---おふくろの宿(解散)13:54

5. 寸記：花園花貫県立自然公園特別地域内の小川学術参考保護林の一角で、森林や野鳥・昆虫類観察メインの山です、今回は和尚山登山を入れた。

定波は阿武隈山系ではブナの大木の多い森林です。また、今回確認できた主なキノコはムキタケ、マイタケ、クリタケそして朽ちた幹の根元には腐ったキノコが一杯。森林の豊かさを確認出来ました。広葉樹は紅葉も終わり落葉しヤドリギの目立つ森林でした。

今回は、ゆっくりと北茨城の多賀山塊を散策できて良かったかと思えます。



定波のブナ林にて

P-4 から

山荘の裏の排水溝は以前より猪が周りを掘り起こし、大きな石や土が排水溝を埋めていて水の流れは悪くなっていました。今回の件を教訓にして、自分たちで出来る対策は早目に行うことにします。

2 月、3 月は水不足で宿泊者には風呂使用不可の説明をして了解してもらい、大勢での広場利用は水洗トイレの水の確保が出来ないので断り、また宿泊施設利用者の炊事用水とトイレ用の水の確保のため 500 リットルの水運び行い何度も行い、必死で水不足対策をしてきましたが、今回は浸水被害です。

水難の相が出てるのかな？

## 農業班活動報告（春の活動報告）

太田 満

### 1. 踏み込み温床作り

踏み込み温床作りさつま芋の苗を作る目的で毎年温床を作り、苗を自給しています。

#### 踏み込み温床作り



今年も 2 月 18 日に温床を作り、種イモを伏せました。

現在、種イモから発芽して蔓が伸び始めました。

4 月 11 日現在の様子です



5 月上旬には、畑に苗を植えることが出来るでしょう。

### 2. じゃが芋の植え付け作業

3 月 18 日に 3 種類のじゃが芋を植え付けました。

### 3. 今後の植付予定

4 月には里芋を植付、5 月にはさつま芋苗の植え付けを予定しています。



### じゃが芋の植付作業

### 4. 集中豪雨によるガケ崩れが発生

4 月 6 日から 7 日にかけての爆弾低気圧による集中豪雨により、笠石の畑でビニールハウス近くの崖が約 3 m 幅にわたり崩れました。

4 月 13 日より改修工事を始めています。

### 豪雨によるガケ崩れ（2013. 4. 8）



### 5. その他

- ・ビニールハウスの破損個所の補修。
- ・イノシシ防護壁（トタン）の補修。
- ・畑の草刈り。
- ・マルチ掛け作業の仕方の講習。

### 6. 今後の作業予定

- 1) 崖崩れの土木補修工事。（4 月～5 月）
- 2) 草刈り、農道の補修など



## 自然体験学習の支援活動

### プログラム開発グループ 野口紘

1月～3月の活動は、これまでの活動の学習・発表会支援が多くなりました。

これまで、原発放射能問題に心配であった父兄の方々も学校で行う自然体験学習についてだいたい理解され協力的に成って来たように感じられました。

今後とも私達の活動の基本は、安全第一で「五感で感じる自然体験」です。

そして、各小学校が実施する自然体験学習活動について理解し協力して頂ける父兄の方々と一緒に、環境教育の支援活動を行っていきます。

### ◎いわき市立小学校学習支援活動

No	月日	曜	学校名	年	学習名	名
1	25.01.10	木	江名小学	6	理科	5
2	25.01.31	木	藤原幼		木育	32
3	25.02.14	木	湯本1幼		木育	17
4	25.02.21	木	中央台北	4	理科	86
5	25.02.28	木	田人2小	全	総合	9
6	25.02.28	木	上遠野小	3	総合	34
7	25.03.04	月	上遠野小	3	総合	34
8	25.03.07	木	上遠野小	3	発表会	34
9	25.03.07	木	上遠野小	4	発表会	32

### ○小学校での学習支援活動写真



自然観察スナップ



教室での座学スナップ

### ◎いわき明星大学 科学技術学部・学習支援

No	月日	曜	支援内容	名
1	25.01.05	土	学校林整備・調査	6
2	25.01.11	金	学校林整備・PG講座	4
3	25.01.18	金	学校林整備・調査	5
4	25.01.25	金	学校林整備・調査	8
5	25.02.01	金	学校林整備・PG講座	8
6	25.02.08	金	学校林整備・PG講座	5
7	25.02.15	金	学校林整備・調査	5
8	25.02.22	金	学校林整備・調査	6
9	25.03.01	金	学校林整備・調査	8
10	25.03.08	金	学校林整備・PG講座	8
11	25.03.15	金	学校林整備・調査	5
12	25.03.22	金	学校林整備・調査	5
13	25.03.29	金	学校林整備・調査	5

### ○明星大学自然観察コースマップ（作成：若森）



樹木マップとしての活用出来ます

### ◎筑波大大学院生命科学研修科調査支援

No	月日	曜	場所	項目	名
1	25.01.06	日	湯の岳	森林土壌調査	2
2	25.01.27	日	湯の岳	森林土壌調査	2
3	25.03.03	日	湯の岳	森林土壌調査	2
4	25.03.23	土	湯の岳	森林植生調査	2

：調査協力支援人数

### ◎今後の活動について

- (1) プログラム研修会 湯の岳山荘  
(毎週木曜日 9:00～ 雨天決行)
- (2) いわき明星大学 自然体験活動学習支援  
毎週金曜日 9:00～
- (3) 筑波大大学院 調査学習支援
- (4) 各小学校 学習支援活動調整中  
4/11 錦東小学校「3学年」学習支援  
4/26 上遠野小学校「4学年」学習支援

## ○主な環境教育総合学習支援活動

猪村珠紀

### \*支援小学校 いわき市立中央台北小学校

#### \*支援期間

平成24年6月12日(火)

～平成25年2月21日(木)

#### \*年間テーマ(命のつながりについて)

#### \*参加者 4学年1組～3組 83名

各組4班に分け班長を中心にしたグループ活動を年間通して4回実施致しました。

### \*第1回目平成24年6月12日(火)

樹形のスケッチ(落葉樹と常緑樹)



葉を手で触れ観察



木の芽の観察

自分の木のスケッチ

### \*第2回目平成24年11月2日(金)

A層、O層の土壌を準備し落葉の分解の様子を観察しました。

### \*発表会平成24年11月12日(月)

1組で前回までの分の発表会に参加しました。発表内容は、土壌の観察を通して

- ・一班は土壌の色について。
- ・二班は土壌の中の生き物について。
- ・三班は落葉樹と針葉樹の違いについて。
- ・四班は落ち葉の分解について。

発表は国語の学習時間です。又クイズ形式で質問を工夫しているのが印象的でした。このように体験したことを各班でいろいろな方向に発展させたことに感心しました。

### \*第3回目平成25年11月15日(木)

木が植えてある山と裸山に雨を降らせ変化を見る観察。

### \*第4回目平成25年2月21日(木)

総まとめとして春の準備をしている冬芽の観察。ベタベタした冬芽、何重にも覆われている大きな冬芽、毛で覆われている冬芽を見て何故だろうと話し合っていました。多分これからの学習の中で調べて発表していくことでしょう。



詳しい観察を指導

又玄関前のクスノキの観察で葉の葉脈のところには2個の虫こぶを見つけ、又葉っぱの穴を見て誰の仕業だろうとか、新芽は何故赤いのだろうとかいろいろ質問が出ました。少しは観察の楽しさを感じ取ってきたようです。



メダマッチゲーム

平成25年1月19日(土)最後にメダマッチゲームをやり楽しい体験活動を終了することが出来ました。

これも先生のご協力と御指導のお蔭と感謝しております。